



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会
発行人 会長 岡林 正光
事務局 〒780-0850
高知市丸ノ内 1 丁目 7 番 45 号
総合あんしんセンター 2 階
TEL・FAX 088-872-4585

年 頭 所 感

「情報」

公益社団法人 高知県診療放射線技師会長 岡林 正光

新年あけましておめでとうございます。

昨年は念願だった公益社団法人への移行が叶い、事業の幅も広がりました。ひとえに、賛助会員を含む皆様のご理解と御協力の賜物と感謝しております。本年も引き続き、皆さんの身近なところで事業を展開できればと考えておりますので、ご参集の程よろしくお願い申し上げます。また様々な調査も、県民医療を守る意味合いで積極的に行いますので、ご協力を願いたく存じます。

年は明けましたが、事業としては年度末に向け学術大会、技師長会など大きな取組みが予定されています。公私共に多忙とは存じますが、皆さんの会です。意義深い事業を共に築き挙げていただけたらと思います。

政界では今、秘密保護法案が問題になっております。政府の判断で秘密が決められ、その秘密は国会へも漏らせないそうです。漏らしたら最高懲役 10 年？だとか。しかも秘密の正当性は第三者機関ではなく、首相が判断するという危険な法案。確かに外交上、必要な秘密も存在するのですが、法律で縛るものなのか、はなはだ疑問です。TPP にせよ、国民の知らないことが年々増大する中で、追い討ちをかけるような秘密保護法案、暴走内閣としか私には思えません。

本会には秘密がありません。毎月の技師会だよりやホームページで皆さん、しっかりと情報をつかんでほしいと思います。さらに、会の運営にも参画してほしいと役員一同願っております。時間の関係で、うまく情報が伝わらないことも現状ではありますが、常に改善するよう担当理事は奮闘していることをご理解願います。

本年は本会の創立 60 周年に当たります。多くの先輩方の足跡を辿り、正しく現状把握をして、馬の如く駆け出せる年になることを期待しております。

謹 賀 新 年

本年も役員一同よろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

副会長 巴 昭彦

あけましておめでとうございます。読者の皆様に新春のお慶びを申し上げます。今年も光に満ちた、穏やかなお正月の朝を迎えられることに感謝しています。

この平穏な時間は決して皆にある訳ではなく、偶々与えられた幸せと感じ、心を引き締めたいと思います。実は昨年のある会で、ナルホドという話を聞きました。

それは、自分の思った気持ちや感情はすべて周りの人に伝わり、やがて自分に返ってくるということです。そして、自分が感謝の念を発すると、相手も良い感情を持つということを理解し、「周囲に感謝の気持ちを沢山発信しましょう。」と言われました。

世の中は大気中や宇宙空間も含め、何かの物質で満たされており、素粒子間での連絡があり、お互いに影響を与えながら時間が進んでいるとも言われました。物理的にも光、電気、磁気、放射線など、目に見えない物質(エネルギー)は存在します。

人間が周囲へ発信と、吸収する能力は、言葉、思考、身体動作以外にまだまだ未知の方法があるのではないのでしょうか？

この能力の源は、気力、体力です。食物を摂取する食事以外に、呼吸、睡眠、対話等があり、特に睡眠はただ身体を休める時間ではなく、大気のエネルギーを吸収している大変重要な過程だそうです。まわりに良い気持ちを振りまいて、自分も幸せになり、夜更かしをせず、良質な睡眠でエネルギーを補給しましょう。

人に感謝、まわりに感謝！ありがとうは、魔法の言葉！！

新春のご挨拶

副会長 高橋 宏幸

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、皆様からの多大なご協力をいただき、この高知県診療放射線技師会で副会長の任を勤めることができたことに感謝いたします。

さて、高知県診療放射線技師会は、先人たちのご尽力により法人移行を成し遂げ、今後は、公益法人を維持するための事業を受け継ぐことに際し、会員の皆様方にもより一層のご協力をお願いすることになると思います。その事業とは、学術大会や研修会、講習会、調査活動などが属する「診療放射線技術学の研究ならびに調査に関する事業」、漏洩線量測定、消防学校講師派遣、被ばく相談などが属する「放射線の安全管理および放射線障害防止に関する事業」、フレッシューズセミナーや技師長会などが属する「診療放射線技師の職業倫理の高揚に関する事業」です。継続は力なりと申しますが、この事業が今後、会員の皆様に浸透していくことを願っていると、皆様の参加もお願いしなければなりません。また近年、診療放射線技師の業務拡大に対して、「読影の補助」に関するセミナーが各地で行われています。高知県内だけではなく、日本における診療放射線技師の規準が問われるようになるのは事実でしょう。

このような世情にたいしても、より一層、身近に利用していただける高知県診療放射線技師会を皆様に案内し、参加型の会としての認知度を高めるよう努力していく所存です。皆様よろしくお願いたします。

各地区理事からのご挨拶

あけましておめでとうございます

昨年度は地区活動に参加いただきありがとうございました
本年度もぼちぼちやっていきますので
協力をよろしくお願いいたします。

西部地区理事 柳本禎久

あけましておめでとうございます。

昨年は慣れないことばかりでしたが
とても充実した一年でした。
今年も皆さんよろしくお祈いします。
今年の抱負は昨年よりお酒の量を
減らします。

中央西地区理事 横山 喬

あけましておめでとうございます

至らないところも多かったです、今年
もがんばりますのでよろしくお願いいたします

今年は馬くやっていきますので(馬年な
だけに)よろしくお願いいたします

ホースホスホスホス

中央東部地区理事 池田鉄兵

あけましておめでとうございます。

昨年は皆さんのご協力もあり、どうにか
地区活動や行事を無事おこなうことが
出来ました。

本当にありごとうございました。

今年もまだまだ行事が続きます。
これまでと変わらないご協力をよろしく
お祈い致します。

中央南地区理事 竹中俊之

明けましておめでとうございます。

昨年は、お忙しい中、地区会 勉強会に
ご参加していただき、ありがとうございました。

今年も頑張りますので、宜しくお祈い
します。

東部地区理事 菅 章志

あけましておめでとうございます。

昨年度はお忙しい中、地区活動に
ご参加いただきありがとうございました。

本年もご迷惑をおかけしますが
ご協力のほどをよろしくお祈いいたします。

西南部地区理事 岡林史朗



会の動き

平成 25 年度 第 9 回常務理事会

12 月 3 日（火） 総合あんしんセンターにて第 9 回常務理事会を開催した。

第 9 回全国 X 線撮影技術読影研究会が高知で開催されました

11 月 23 日～24 日に高知医療センターくろしおホールで上記の研究会が開催されました。内容は、「一般撮影」。各講師により、撮影本には記載されていないコツやここが見たいのだからこう撮影すべきなど、とても濃い内容でした。二日ともプログラムの最後では、会場からの質問などに答えるように壇上でポジショニング講習が始まるなどユニークな全国大会でした。高知県会員からも

「当院の大腿骨近位部骨折の撮影について」 近森病院の久保行広さん

「ストレッチャー上の撮影について」 高知赤十字病院の太田裕司さん

「外傷初期診療における一般撮影」 高知医療センターの広瀬泰久さん

が救急撮影をテーマに発表をされました。

来年は 6 月に群馬県で開催されるようです。是非、参加されてはどうでしょうか！



お知らせ**西南部地区レクリエーション「麻雀大会」**

西南部地区理事 岡林史朗

冷え込みも随分厳しくなってきましたがみなさまいかがおすごでしょうか。

今年は久しぶりに西南部地区レクリエーションとして下記の要領で「麻雀大会」を開催いたします。腕に覚えのある方もない方も楽しく雀卓をかこみませんか。皆様がたのふるってのご参加をお待ちしています。ご参加の連絡、詳細は幡多けんみん病院放射線室（0880-66-2222）岡林までお願いします。

場所 四万十市雀荘「八反」
日時 平成 26 年 1 月 25 日（日） 13:00～

3 月 15 日(土)、「技師長会」のお知らせ

副会長 高橋宏幸

今回のテーマは、「災害」。テーマをもとに、災害時の機器運用、診療放射線技師の役割など各施設から意見がいただければと考えています。また、技師長会後の情報交換会は、日頃、第一線で活躍されている皆様たちとゆっくり膝を交えて、様々な情報交換の場になりたいと考えています。

詳細は、おって案内いたしますので、ご注目ください。

テーマ 「災害」
シンポジスト 1 高知赤十字病院 泰泉寺 節夫先生
場所 あんしんセンター本会会議室
日時 平成 26 年 3 月 15 日(土) 15:00～17:00
18:00 すぎより情報交換会 (場所、会費未定)

高知県放射線技師学術大会演題募集

学 術

平成 25 年度高知県放射線技師学術大会の演題を募集します。

日 時 平成 26 年 2 月 23 日(日) 13:00～

会 場 高知医療センター くろしおホール

13:00～一般演題

15:00～特別講演

フィリップスのマンモグラフィ 装置について

東芝 80 列 CT について

発表形式 パソコンプレゼン PowerPoint2010

(ノートパソコンまたは USB、CD に演題を保存し当日お持ちください)

発表時間 10 分以内 (発表 7 分、質疑応答 3 分)

申込方法 技師会だよりの申込用紙に演題内容を記載し、下記の学術担当者まで
FAX またはメールにて、お申し込みください。(抄録は後日提出)

申込み先 藤田純二 (いずみの病院) FAX088-826-5510 TEL088-826-5511
中村伸治 (近森病院) FAX088-872-3059 TEL088-822-5231
Male: kochi_housyasen_gishikai@yahoo.co.jp

申込締切 平成 26 年 2 月 3 日(月)

備 考 **各地区活動部長 は、1 地区 1 演題以上となるように**
(学術担当)活動部員を通じて演題の提出依頼をお願いします。

**高知県学術奨励賞の授与もありますので、
奮って、演題発表をお願いします。**

リレー エッセー!

その 119 (土居 啓太 : 高知赤十字病院)

新年あけましておめでとうございます。今回、リレーエッセイを任されました高知赤十字病院の土居啓太と申します。紹介してくれた西内恒太郎さんとは、共通の知人を通して知り合った呑み仲間で、昨年の総会の際も大変お世話になりました。

初夢に見ると縁起がいいとされる「一富士、二鷹、三茄子」という言葉を年末年始によく耳にされたことと思います。江戸時代には 1 月 1 日か 2 日の夜寝る際に枕の下に宝船の版画を敷いてよい夢を見ようとしていたそうです。かつての日本では、夢を見ることは異界へ行く手段と考えられており、枕は「異界へ移動するための特別な道具」とみなされていたそうです。そのため、「眠っている間に枕をひっくり返す」と、すべての秩序が逆転すると考えられたようで枕に対する民間信仰が、「枕返し」という妖怪の伝承の元になったようです。児童用妖怪本によると、「夜中に枕元にやってきて枕をひっくり返す悪戯好きの妖怪」とあります。本質の「すべての秩序が逆転する」つまり「異界からの帰路を断たれる」という部分が欠落しています。

現代における異界といえばネット世界でしょうか。インターネットが世界などとは大袈裟だと感じる方もおいでだと思いますが、アメリカでは 2005 年にネットワーク戦争に備えてサイバー軍を組織しています。陸海空の次の戦場はネット世界であると想定しているのです。私たちの身近なネット世界には、PC やスマホなどのネット端末で行くことができます。調べ物、メール、ゲーム、音楽や映像配信などなど便利で楽しい世界です。病院の待合でも、スマホをよく見かけるようになりました。若い方のみならず高齢の方でもスマホを触っています。日常生活の中でも、歩きながらスマホ、中高生の自転車スマホ、そして車の運転をしながらスマホをしている方を見かけます。簡単、便利で楽しい反面、最

近こういった「ながらスマホ」の危険性が社会問題になっています。

スマホを「異界へと移動するための特別な道具」と考えれば、江戸時代の枕と同義です。「ながらスマホ」とは、心ここにあらずで異界に旅立っている状態だといえます。言い換えれば「夢中」です。「夢中になり過ぎる」ことは、もしかしたら「枕返し」に「帰路を断たれた」ことなのかもしれません。あれ、背後でメールの着信音がします…ピロピロ。何事も「夢中から帰れる程度」が丁度いいということですね。

さて、次に私がバトンをお渡しするのは、日本メジフィジックス株式会社中四国支店高松営業所の山下知章さんです。彼は当院受付からマスコットボーイと呼ばれるほどの好青年で、このバトンも快く受けていただきました。それでは、日本メジフィックスの山下知章さんにバトンタッチ！

総務報告（2013年12月3日現在）

1. 高知県の会員数	<u>226</u> 名
2. 本年度会費納入者	<u>151</u> 名
賛助会員	<u>9</u> 社
3. 24年度未納入者	<u>2</u> 名
4. 今年度新入会員数	<u>3</u> 名
(今月の新入会)	<u>0</u> 名
5. 今年度再入会員数	<u>2</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. 今年度退会者数	<u>4</u> 名
(今月の退会者)	<u>0</u> 名
7. 今月の会員異動	なし

(文責編集広報)

この技師会だよりは、**キタムラメディカル**と**和光商事**のご協力により会員の皆さんに配送されています。

あけましておめでとうございます。
本年の目標！
技師会だよりの誤字脱字率を下げる！
新しいコーナーを掲載する！
です。本年も暖かい目で見てください。おおの